

令和6年度

**地球惑星科学科
全員集合ガイダンス**

2024年4月8日(月)

10:00~

大講義室

地球惑星物質科学講座教職員名簿(2024年度)

鉱物学

准教授 栗 林 貴 弘 (内6650)
准教授 長 瀬 敏 郎 (内6652)

資源・環境地球化学

教 授 掛 川 武 (内6660)
教 授 渡 邊 由 美 子
(グローバルラーニングセンター)
准教授 古 川 善 博 (内3453)
助 教 石 田 章 純 (内5789)

初期太陽系進化学

教 授 中 村 智 樹 (内6651)
講 師 中 嶋 大 輔 (内5903)
助 教 松 本 恵 (内5789)

量子ビーム地球科学

准教授 鈴 木 昭 夫 (内6663)
助 教 坂 卷 竜 也 (内6666)
技術補佐員 小 畑 和 子 (内6663)

火山学・地質流体研究

教 授 中 村 美 千 彦 (内7762)
准教授 奥 村 聡 (内7764)
助 教 無 盡 真 弓 (内7763)

地殻化学

(東北アジア研究センター) (内6009)
教 授 辻 森 樹 (内3614)
准教授 平 野 直 人 (内3618)
助 教 後 藤 章 夫 (内6272)
助 教 宮 本 毅 (内7477)
学術研究員 吉 田 聡 (内6272)

グローバル結晶科学

教 授 大 藤 弘 明 (内6658)
技術補佐員 小 畑 和 子 (内6663)

地球惑星物質科学講座教職員名簿(2024年度)

連携・委嘱分野 地球内部反応

海洋研究開発機構

教授(客) 鈴木 勝彦

宇宙航空研究開発機構

准教授(委) 小川 和律

産総研地質調査総合センター

准教授(委) 宮城 磯治

地学専攻事務室

事務補佐員 石 森 優 樹 (内6636)

地学専攻技術室

統括技術専門員 根 本 潤 (内6629)

技術専門員 伊 藤 嘉 紀 (内6670)

技術専門職員 川 野 部 裕 之 (内6670)

技術専門職員 阿 部 道 彰 (内6670)

学科委員室

事務補佐員 阿 部 亜 佑 美 (内6667)

学際科学フロンティア研究所

助 教 Daniel Pastor-Galán (内6236)

国際共同大学院

教 授 McDONOUGH, William

助 教 小 澤 信 (内6687)

卓越大学院

学術研究員 林 謙 一 郎 (内5786)

助 教 新 谷 直 己 (内7763)

助 教 白 石 令 (内6687)

客員研究者・学術研究員

客員研究者 吉 田 武 義 (内6643)

客員研究者 塚 本 勝 男 (内6661)

客員研究者 大 谷 栄 治 (内6662)

特任研究員 長 足 友 哉 (内6687)

理学部・理学研究科からの周知方法について

理学部・理学研究科から学生への周知は、「**理学研究科事務棟2階掲示板**」「**学務情報システム**」「**理学部・理学研究科ホームページ**」に掲載するので、それぞれを定期的にチェックし、確認漏れが無いように注意してください。

- 学生への周知は、「**学務情報システム**」の掲載がメインとなります。「理学研究科事務棟(H-11)2階掲示板」「理学部・理学研究科ホームページ」と併せて必ず確認してください。
- 学生あての電子メールは「東北大学学生用電子メールサービス(**DCメール**)」のアドレスへ送信するので、定期的に必ず確認するようにしてください。

⇒転送設定の利用がお勧め

Net予約: 4/12-5/7

2024年度

「東北大学定期健康診断」のお知らせ

東北大学では、下記日程で定期健康診断を実施いたします。

対象者は各自、Web 問診回答後に Net 予約を取得し、予約日時に受診してください。

Web 問診に回答がないと健康診断を受診できないことがあります。

なお、歯学部学部生(2～6年生)、医学科学部生(2～5年生)は下記 5. 予約方法の

☆マークをご確認ください。



1. 実施日時

2024年4月22日(月)～26日(金)、5月7日(火)～20日(月)

●ただし、土・日・祝日は除きます。予約時間は厳守でお願いします。

2. 開催場所

東北大学保健管理センター (右 QR コードは保健管理センター Web ページの URL です)

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41 ☎022(795)7836・7829 <https://www.health.ihe.tohoku.ac.jp/>

※駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。



3. 対象者

全学生。2024年度入学の非正規生(研究生等)も対象となります。なお、社会人学生などで、職場あるいは学外で別途健康診断を受診した場合には、健診結果(胸部X線撮影結果必須)の複写を保健管理センターに直接あるいは郵送・学内便等でご提出いただければ、本学の定期健康診断の受診は不要となります。ただし、保健管理センターから健康診断証明書の発行はできません。また、健診結果の原本を提出された場合は返却できませんので、予めご了承ください。

4. Web問診

4月12日(金)から5月7日(火)までWeb問診サイトで回答可能です。

必ず、健康診断受診前かつWeb問診回答期間内に下記URLまたは右のQRコードからご回答ください。

健康診断を受診するためには、受診前にWeb問診を回答することが必須事項となります。

健診当日、Web問診の回答完了を確認させていただきます。

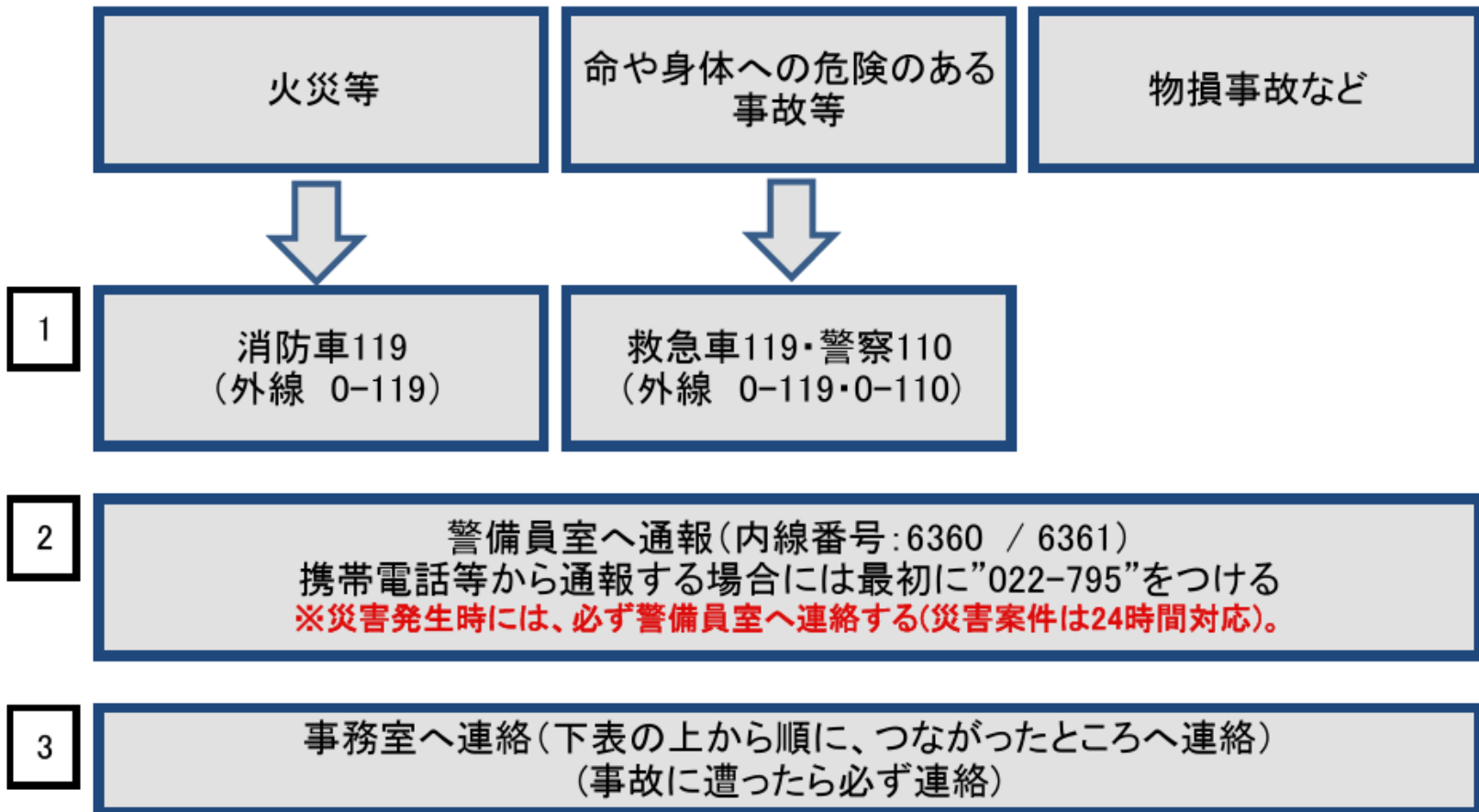
URL: <https://forms.gle/tDD5vkx6D4zzhFuQ7>



WEB問診

構内事故等の発見者の**通報順序**

火災・事故等の発生時の当事者又は発見者が
①消防、救急、警察 ②警備員室 ③事務室へ連絡する。
事故を見聞きした場合は少なくとも③事務室へ連絡を行う。



学部学生による大学院授業科目の先行履修に関して

地学専攻の学部学生は、一定の条件を満たせば、**大学院授業科目の先行履修**が可能です。以下、履修資格(一部抜粋)です。

1. 4年生で博士課程前期に入学を希望し、大学院授業科目を先行履修することが教育上、有益であると認める者。
2. 卒業要件の124 単位のうち、課題研究」10 単位とセミナーを除いた、**110 単位が取得済み**で、かつ履修したすべての科目(教職科目等も含む)の成績から算出される**GPA が3.0以上の者**。
3. 指導教員が優秀と認めた者。

詳細は、先行履修に関するpdf資料を参照のこと。

研究データの管理とラボノートについて

研究成果の客観性、再現性を確保するため、研究者は研究データの記録と管理・保存をしっかりと行うことが必要。

1. 日頃から研究試料やデータの整理を心がけ、試料名やノートの記載などは、**他人が見てもわかるような説明的なもの**にしておく。
2. 論文出版後もデータの再現性を保証できるよう、**岩石鉱物試料や出発物質・実験産物・実験条件の記録や生データ**などは、論文の責任著者あるいは指導教員が管理しておく。
3. 研究で得られた知見を論文等で公表できるようにするため、(自分の在学中には論文投稿できなくとも)卒業時には、必要な**試料やデータをわかりやすい形に整理して、指導教員に引き継ぐ**こと。
4. ラボノートをうまく活用して、**日ごろから研究の進捗を詳細に記録**すること。(成果の独自性や研究不正がないことの証明)

詳細は、[研究データの管理とラボノートについてのpdf資料を参照のこと。](#)

地球惑星物質科学科（学部、大学院）進路データ

（2021年まで）



学部四年卒業

進学

本専攻

地球惑星物質科学・
比較固体惑星学 自然史科学
地殻化学学講座

他専攻

東北大学院工学研究科
公共政策大学院

他大学大学院

北海道大, 東京大, 名古屋大
京都大, 東京工業大, 神戸大
大阪大, 兵庫教育大学
奈良先端技術大, 慶応義塾大
総研大（天文）

修士修了

就職

公務員／教員

宮城県庁, 青森県庁, 東京都庁, 千葉地方裁判所
佐世保市役所, 東北大事務職員, 南相馬市役所, 高校教員

企業（資源・環境・コンサルなど）

JAPEX, 合同資源産業, ニチアス, 同和, 応用地質,
日特建設, ダイヤコンサル, 住鉱コンサル

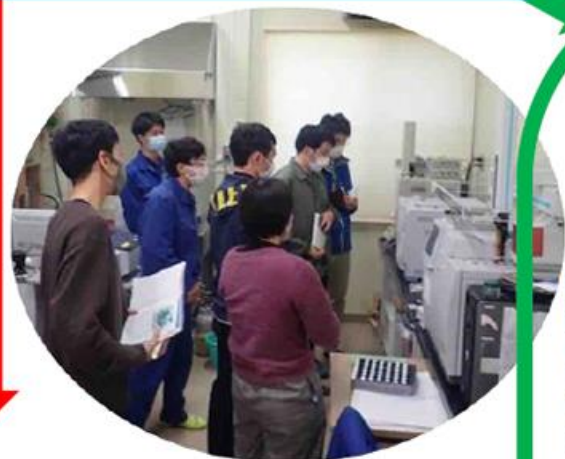
企業（その他）

三菱商事, カシオ, タンガロイ, 多摩川精機, TIS, 日本無線
三栄ハイテック, シンプレクステクノ, 七十七銀行, NHK
北九州総合病院, みずほ銀行, みずほ信託, OST, ニトリ
三井住友海上, 大和証券, 東日本放送, NTT データ
アウトソーシングテクノ, セキスイハイム東北, 小松塾
メイテック, 明光義塾, 大月真珠, アーク牧場, Braxton,
セイコーホールディングス, ニチコン, タスクフォース,
富士ゼロックス, Google, FUKUMIMI,
クリスピー・クリーム・ドーナツ

就職

国立法人／独立行政法人

修士修了



進学

本専攻

地球惑星物質科学・
比較固体惑星学
自然史科学
地殻化学学講座

他大学大学院

早稲田大創造理工学研究科
名古屋大工学研究科
大阪理学研究科
北海道大大学院

就職

国立法人／独立行政法人

JOGMEC, JAMSTEC, NEDO, 産総研, JASSO,
自然科学研究機構, 科学技術振興機構

企業（資源・環境・コンサル・材料など）

国際石油開発, IMPEX, 出光昭和シェル, JXTG エネルギー
日鉄鉱業, 新日鉄住金, DOWA HD, 同和鉱業, 日本ガイシ
住友金属鉱山, 日立製作所, 島津製作所, 東北自然エネルギー
三菱マテリアル, 東芝, 住鉱コンサルタント, SUMICO
コスモエネルギー, コスモ石油, 日本板硝子, アジア航測
新日鉄, 三井金属鉱業, 三井金属資源開発, 日鉱探開,
LIXIL 日立金属, 地熱エンジニアリンク, 日本電気硝子
応用地質, 住友大坂セメント, 三菱マテリアル, 旭硝子
宇部マテリアルズ, 太平洋セメント, セントラル硝子
, 品川リフラクトリーズ, 信越化学工業, 東邦亜鉛
日東電工, セック, 東京ガス, 日鉄住金テクノロジー
東芝セラミックス, 東芝タンガロ, 日本特殊陶業,
伊藤忠エネクス, トピー工業, サンドピック, 日特建設
大西電機工業 東北開発コンサルタント, 国土防災技術
土木管理総合試験所, テクノ長谷, 東芝メモリ, 宇宙技術開
日本電波工業, パシフィックコンサルタンツ, キタック
, 国際航業ホールディングス, 復建技術コンサルタント,
ニチアス アサヒプリテック, アスベストセーフネット,
鉱研工業, 高砂熱学工業, 日本冶金工業 並木精密宝石, アーキジ
オ, リモートセンシング技術センタ, UBE三菱セメント株式会社
クアーズテック, 旭ダイヤモンド工業,

武蔵野高校, 加藤学園高校, 日本科学未来館, 知床自然センター
佐賀県, 福島県, 宮城県, 千葉県, 長野県等の中学高校教員, 栃木県立高校

公務員

環境省, 外務省, 文科省, 経済産業省, 気象庁, 国土地理院, 関東公安調査局,
県庁 (宮城, 新潟, 神奈川) 市役所 (仙台, 甲府, 大仙, 角館) 東京大, 静岡大, 金融庁

企業 (その他)

三井物産, 石川島播磨重工, 丸紅, 日本工営, 日本電工, TDK, オリンパス, 日本電子, キヤノン,
ニコン, セイコーインスツルメント, TIS, 小松製作所, リガク, 花王, 東レ, 鉄道総合技術研究所,
東芝 (マイクロテクノロジー, e-ソリューション, エネルギー)
日本ガイシ, 三菱総研, 大和総研, 野村総研, みずほ情報総研, AIU保険, リそな銀行
三井住友信託銀行, 住友林業, キンセイマテック, 全日空, 東日本放送
アジレントテクノロジー, イビデン, エヌシーアイ総合システム, アマゾン,
SHIFT NEC システムテクノ, パシフィックマネジメント, 三菱アルミ,
日立 (情報システムズ, 公共情報事業部, 東北ソフトウェア, ハイテクソフトエンジニア),
JFF ミネラル, キヤノンシステムソリューションズ, 読売新聞, セック, 新日鉄ソリューションズ,
チェンジ, 倍風館, 富士通, 富士通ビー・セス・シー, アクセンチュア, トライアロー, 楽天,
日本 IBM アドバンストソリューション, エー・アンド・アイ・システム, UFJ日立システムズ,
電通国際情報サービス, NTT (データ, データアイ, ドコモ, JR東日本, コムウェア),
日本ミシュランタイヤ, デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム, クレスコリコー,
MC&P デジタル・ワークス, ベネフィット・ワン, テックプロジェクト,
キオクシア, 大和証券, 伊藤忠テクノソリューションズ, アクセンチュア, NEXCO, 三菱重工業,
ゼンリン, ウチダ, freee, SCSK, ホウコクシア, ソリマチ, アナログディバイシズ, トクヤマ,
東京電力, 北海道電力, NEC, 中部電力, UACJ, JR (東日本, 北海道, 四国), アイ・ケイ・ケイ,
日本総合研究所, 博報堂DYメディアパートナーズ, NECソリューションイノベータ,
MHIエアロスペースシステムズ, 大阪真空機器製作所, ウェスタンデジタル, 双日
東芝インフシステムズ, ソニー, ブラザー工業, Gakken, オキサイド

博士修了

就職（研究職）

大学

東北大学理学研究科，
国際高等融合領域研究所
金属材料研究所，多元物質科学研究所
東京大地震研，物性研，大気海洋研
京都大防災研究所，名古屋大，愛媛大，
大阪大工学研究科，山口大学，九州大
気象大学校，エール大，シカゴ大，
バイロイト大学，スイス連邦工科大，
モンゴル科学技術大学
名古屋大工学研究科学術研究員
神戸大理学研究科学術研究員
モンゴル科学アカデミー地質鉱産研究所
日本学術振興会特別研究員，

研究機関

カーネギー研究所
JAMSTEC 高知コアセンター

就職

公務員

気象庁，海上保安庁海洋情報部，黒石市役所

独立行政法人等

宇宙航空研究開発機構，物質・材料研究機構
日本原子力研究開発機構，
燃料サイクル機構，産業技術総合研究所，
新エネルギー産業技術総合研究所，
社会保険労務士法人礎，材料科学技術振興財団

企業

大成基礎設計，住鉱コンサルタント，土木地質
東芝研究開発センター，東芝生産技術センター
鉄道総合技術研究所，日本宇宙フォーラム
ダイセキ環境ソリューション，日特建設，AJS
有人宇宙システム，アスベストセーフネット
セイコウエプソン，フジクリーン，リガク，
富士通ビー・セス・シー
東北インフォメーション，
イグニッションポイント，Orbray

教員・学芸員

宮城県中学教員

親子で読む

東北大学理学部・理学研究科

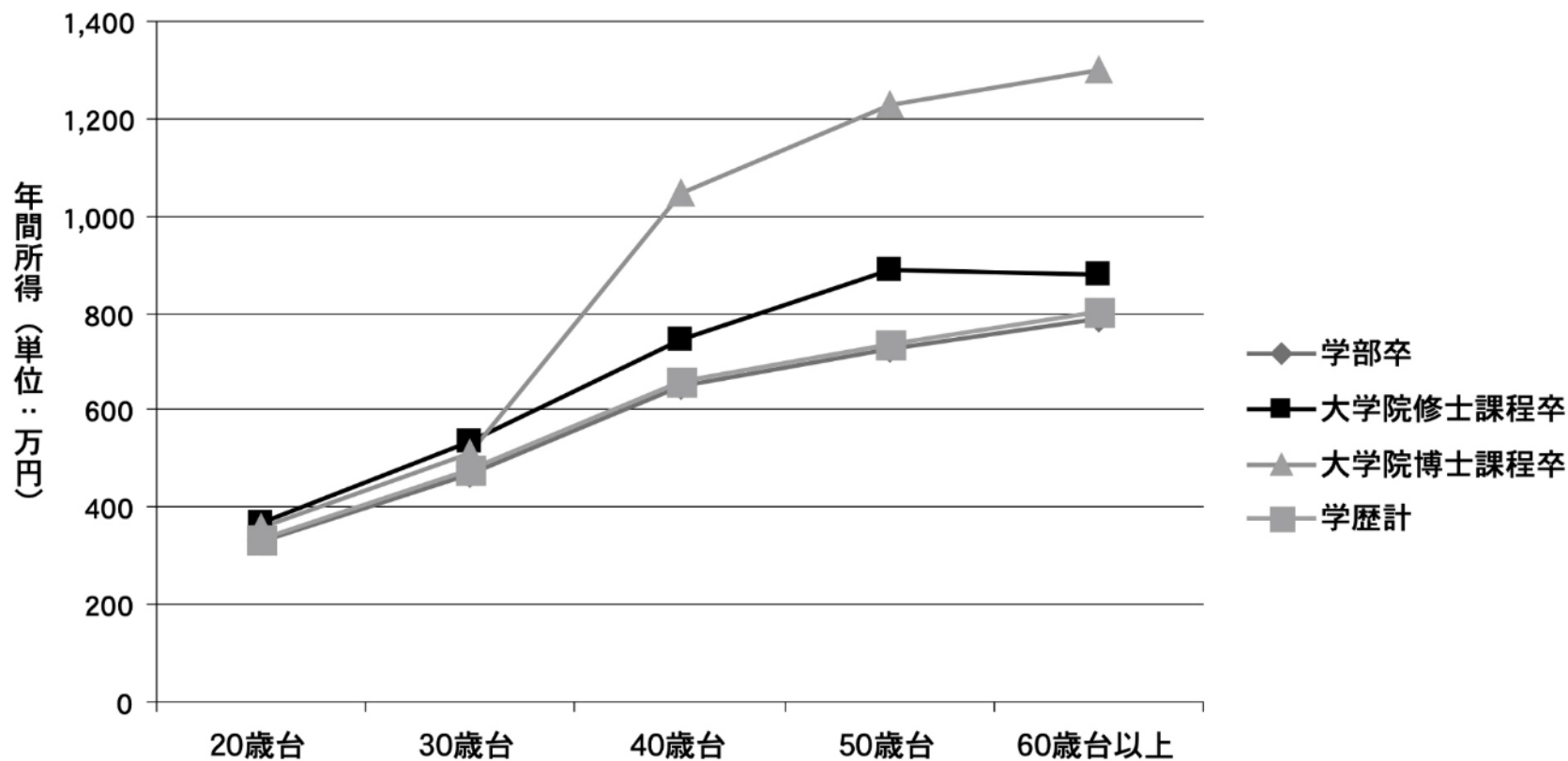
進学・就職

ハンドブック 

- 1. まえがき
- 2. 大学院進学・就職の基礎知識
- 3-1. お仕事インタビュー（前編）
- 3-2. お仕事インタビュー（後編）
- 4. 博士学生の座談会
- 5. 保護者から見た博士進学



大学院進学**の強み**



島一則・藤村正司、2013、「大卒・大学院卒者の所得関数分析」『大学経営政策研究』p.28

変動地球共生学卓越大学院プログラム (SyDE)



東北大学
変動地球共生学卓越大学院プログラム
WISE Program for Sustainability in the Dynamic Earth



[プログラムについて](#) [スタッフ・メンバー](#) [学生の皆様へ](#) [企業・団体の皆様へ](#) [イベント・活動報告](#) [刊行物](#) [アクセス](#)

地球を学び、
未来を見つめる。
Study the Earth,
Discover the future.

↓
Scroll



環境・地球科学国際共同大学院プログラム(GPEES)



環境・地球科学国際共同大学院プログラム

The International Joint Graduate Program in Earth and Environmental Sciences

お知らせ サイトマップ お問い合わせ

日本語 English

GP-EES関係者



GP-EESとは

活動内容

メンバー紹介

プログラムへ参加したい方

将来について



世界で活躍する「地球を丸ごと理解する」
意欲と能力を持った人材の育成

Latest News

最新のお知らせ

お知らせ 受賞 研究 イベント 講義・セミナー 記事一覧

2024年2月19日 講義・セミナー

ヴィクトリア大学ウェリントンにて半日ワークショップを開催します



2023年10月13日 イベント

2024年度4月期GP-EES学生募集説明会

2023年11月10日 お知らせ

令和6（2024）年度4月期のプログラ

2023年9月26日 受賞

原田浩伸さんが、日本鉱物科学会2023年年会研究発表優秀賞を受賞しました。

Pick up Information

ピックアップ情報

01 募集要項
Entrance Requirements

02 カリキュラム
Curriculum

03 海外研修報告
Report

04 国際研究クラスター
International Research Cluster

博士後期課程学生挑戦的研究支援プロジェクト

「東北大学高等大学院博士後期課程学生挑戦的研究支援プロジェクト」

令和3年9月、東北大学はJST事業「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に申請した「東北大学高等大学院博士後期課程学生挑戦的研究支援プロジェクト」が採択されたことを受け、博士後期課程学生に対する支援を行います。

本事業は、学際・国際・産学共創の学修・研究を志す優秀で意欲にあふれる博士後期課程学生に対し、生活費相当の経済支援及び研究力強化に資する多彩な研修プログラムの提供や研究費の配分、国際的な活躍の場の提供など博士後期課程学生への研究環境を向上させるとともに、博士後期課程修了者の活躍の場の拡大を見据えたキャリア形成支援の強化を加速することで、本学の博士後期課程の量的拡大を図り、博士後期課程の抜本的な改革の推進、大学全体の研究力強化を目的としています。

東北大学は、在籍する優秀な博士学生に研究奨励費（月額18万円（基準額）※実績等に応じて月額16万円または20万円とし、年次ごとに決定）及び研究費（年額34万円※競争的資金としてさらに研究費を配分する場合あり）を支給することにより、学術研究に専念できる環境を提供し、研究力の向上に寄与します。



東北大学高等大学院博士後期課程学生挑戦的研究支援 プロジェクト概要

大変革の社会を世界的視野で力強く先導する 世界レベルの博士人材の育成

博士人材の
質量の向上

博士後期課程の
抜本的改革

大学全体の
研究力強化

東北大学高等大学院博士後期課程学生

挑戦的研究支援プロジェクト

- 年間**511名**に対する年額**216万円**（標準）の経済支援、
研究費 年額**34万円**（標準）の研究支援
- 挑戦的研究支援・キャリア開発支援に資する多彩な研修プログラムの提供
- 研究費の配分、国際的な活躍の場の提供等による研究環境向上

研究領域の戦略的な
強化

国内外から積極的に
優秀な学生を獲得

安心・安全で持続可能
な未来社会に向けた教育・研究・社会連携活
動の推進

研究第一

門戸開放

実学尊重

「インターンシップ願」の事前届出は必須

共通

【参加許可要件】

申告制。学業（研究や授業）に支障がないことを指導教員や学科長と確認し、**参加について承諾を得る**必要がある。

【インターンシップ願の提出先】

- 地学教務窓口（tigaku-kyom@grp.tohoku.ac.jp）まで指導教員と阿部さんをccに加えメールで提出。（教員の押印は不要）

【書類の入手先】

地学専攻HPの内部限定ページからダウンロード

【備考】

- インターンシップよりも**授業、実習を優先**すべきであり、**学業に支障が出ないように注意**。

【終了後】

- **インターンシップ報告書を提出**する。
（提出先は「インターンシップ願」と同様）

就職関係：1（支援・情報）

共通

- 地学専攻の2024年度キャリア支援委員は武藤先生（地圏）、**栗林先生（地惑）**です。就職の相談等は各先生へ申し出る。
- 地学専攻に届いた求人資料やパンフレットは、地学専攻事務室向いの棚にリスト番号順に設置。自由に閲覧できる。
- 川内キャンパスにあるキャリア支援センターにて、就職相談、エントリーシート作成の指導などを行なっているので活用してください。

<http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/>



- 理学博士のための就職支援「サイト ビズ・リガク」

<https://biz.sci.tohoku.ac.jp/>



- 求人で地学専攻並びに学科枠の推薦のあるものは、**事前に必ずキャリア支援委員に申し出て**、他推薦者の有無を確認し、**推薦の許可を得てから申請**する（事後承諾は難しい場合が多い）。
- 内定の条件として、あるいは内定後に「確約書」や「誓約書」の提出を求められた場合、対応しません。
- 「学校推薦」を求められた場合、専攻および学科からの推薦人数を超えない範囲で対応します。「学校推薦」の上限数を超えた場合、**成績の上位者を推薦**します。
- 就職活動にあたり、学生のみなさんには**企業との信頼関係を考慮した対応**を要請します。信頼に反する行為をした場合、**迷惑は後輩達が負う**ことになります。

学外研究活動計画書のGoogleフォームでの回答(提出)について

学外にて研究活動を行う学生は、事前に指導教員の許可を得たうえで活動内容等の情報を申告する必要があります。学外研究活動計画書について、地惑ではGoogleフォームより回答(提出)できるようにしています。



<https://forms.gle/yY4nU799yEuspib66>

従来通り、紙媒体もしくはWord ファイルでの提出も受け付けています。不明点があれば、地惑学科委員室 阿部さんまで。

令和6年度(2024年度) 地球惑星物質科学科 予定表

| 年 | 月 | 日 | 曜 | 2年 | 3年 | 4年 | 大学院 |
|------|---|----------|--------|---------------------------|-------------------------------|----|-----|
| 2024 | 4 | 8 | 月 | | 新入生・教室全構成員集合(午前10時) 理学研究科大講義室 | | |
| | 4 | 8 | 月 | | 授業開始 (※5/2(木)は月曜日の授業を行う) | | |
| | 5 | 13 17 | 月 金 | | フィールドセミナー I | | |
| | 6 | 22 | 土 | 創立記念日 | | | |
| | 7 | 30 31 | 火 水 | オープンキャンパス | | | |
| | 7 | 29 | 月 | 授業終了 (7/23・7/24は補講・定期試験日) | | | |
| | 7 | 23 | 火 | 補講・定期試験 | | | |
| | 8 | 5 | 月 | (※7/25・7/26・7/29は授業日) | | | |
| | 8 | 8 | 木 | 大学院入学試験 (一般選抜) | | | |
| | 8 | 9 | 金 | 自己推薦入試 | | | |
| | 9 | 1 8 | 日 日 | | 夏期フィールドセミナー | | |
| | 8 | 6 | 火 | 学期末休業 | | | |
| | 9 | 30 | 月 | | | | |
| | 9 | | | | 夏期フィールドセミナー報告書提出 | | |
| 9 | | | | 夏期フィールドセミナー成果発表 | | | |

令和6年度(2024年度) 地球惑星物質科学科 予定表

| | | | | | | |
|------|----|----|---|--|-------------|--|
| 2025 | 10 | 1 | 火 | 第 2 学 期 授 業 開 始 (※10/14は祝日であるが授業を行う、1/28(火)は金曜、1/29(水)は月曜の授業を行う) | | |
| | 10 | 6 | 日 | | フィールドセミナーⅡ | |
| | 10 | 28 | 月 | | | |
| | 11 | 1 | 金 | 前・後期博士課程課題研究進行状況報告 前期2年・後期3年課程予備審査 | | |
| | 10 | 25 | 金 | 大学祭 ※授業無 | | |
| | 12 | 20 | 金 | 論文提出(午後2時) ※M2とD3 | | |
| | 12 | 26 | 木 | 冬 期 休 業 | | |
| | 1 | 3 | 金 | | | |
| | 1 | 20 | 月 | | 論文提出(午前10時) | |
| | 1 | 29 | 水 | 授 業 終 了 (※1/21・22は補講・定期試験日) | | |
| | 1 | 21 | 火 | 補 講 ・ 定 期 試 験 (※1/23・24・27・28・29は授業日、うち1/28(火)は金曜、1/29(水)は月曜の授業を行う) | | |
| | 2 | 3 | 月 | | | |
| | 2 | 3 | 月 | 課 題 研 究 発 表 | | |
| | | 7 | 金 | | | |
| | 2 | 上旬 | | | 課題研究の分野希望提出 | |
| | 2 | 10 | 月 | 後期課程進学試験 | | |
| | 3 | 上旬 | | | 分 野 決 定 | |
| | 3 | 25 | 火 | 卒 業 式 | | |

分野配属に関する注意事項

(2014年3月改訂)

1. 3年次前期の野外調査演習の単位が習得できないものは、3年次の夏期フィールドセミナーを履修できない。
2. 3年次末までに夏期フィールドセミナー、および卒業に必要な科目**10単位以上を未習得**のものは課題研究のための分野配属を認めない。必要条件を充たした時点で改めて分野を決定する。
3. 4年次における課題研究の分野の決定に関しては別紙参照。

4年次学生の分野配属に関して

- ① 配属される3年生の人数が20名以下の場合は**1分野(または1研究室)4名**を上限とする。人数が21名以上の場合、**1分野(または1研究室)5名**を上限とする。
- ② 学生配属に関する「分野」(または研究室)の定義は教員会議で定めたものにする。教員の異動退職などによって、学生配属に関する「分野」(または研究室)の定義が一時的に変わることがある。
- ③ 教員の異動退職を控えて卒業論文の指導が困難と判断された場合などは、教員会議の承認のもとに受け入れ可能な学生数上限を2名程度とする分野(または研究室)もありうる。
- ④ 分野配属の希望調査と内定は**2月上旬**に行う。③の事態が生じた場合は、希望調査前に学生側に連絡する。
- ⑤ 分野配属希望数が上限数を上回った場合は、基本的に学生間で調整する。調整がうまくいかず、①の例外が認められない場合は、成績などの客観的資料をもとにして、教員会議の責任において第二あるいは第三志望分野に配属となる場合がある。
- ⑥ 志望表提出前に**配属希望分野の教員の承諾を得ること**。

学位論文の提出・最終発表について

学位論文については、最終発表前に論文を提出することとなります。

修士・博士（令和 6年 **12月 20日(金)午後2時** 〆切）

学士（令和 7年 **1月 20日(月)午前10時** 〆切）

また、発表時間は以下のとおりです。時間を厳守して下さい。

発表時間＋討論(分)

博士：45 + 30 = 75

修士：25 + 10 = 35

学士：25 + 10 = 35

上記発表については、今後変更となる可能性もあります。

連絡先情報 (Googleフォーム) 登録のお願い

地球科学系・地学専攻として、万一の場合に備え、各人の連絡先を確認していますので、学務情報システムの登録状況に間違いがないか確認をお願いします。



(すでにご登録頂いた方、ご協力ありがとうございました。)
まだの方は、4/15(月)までに入力してください。
URLは、後ほど阿部さんからメールで再周知もさせていただきます。

学習状況・進路希望アンケート

3年生



<https://forms.gle/gsKwL6YxoasyUjWH8>

修士1年生



<https://forms.gle/9x5CBARUJC7RbJbXA>